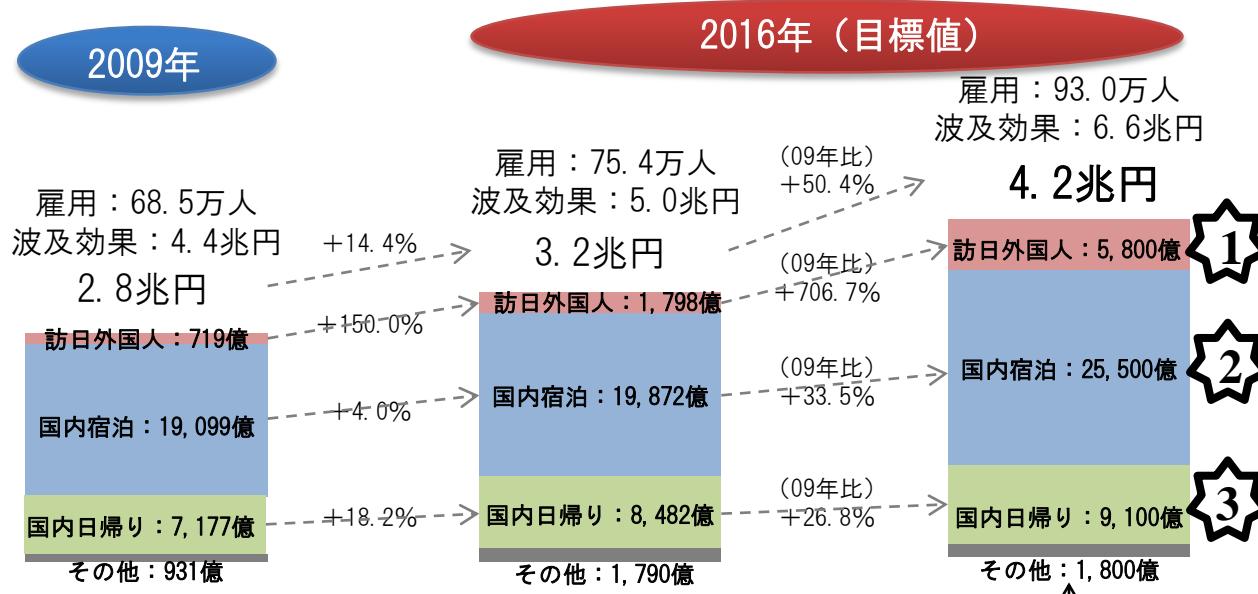


(参考)観光産業の基幹産業化に向けた 目標感・組織などのイメージ

～国内外観光客の大幅拡大で観光産業を九州成長戦略の核とする～

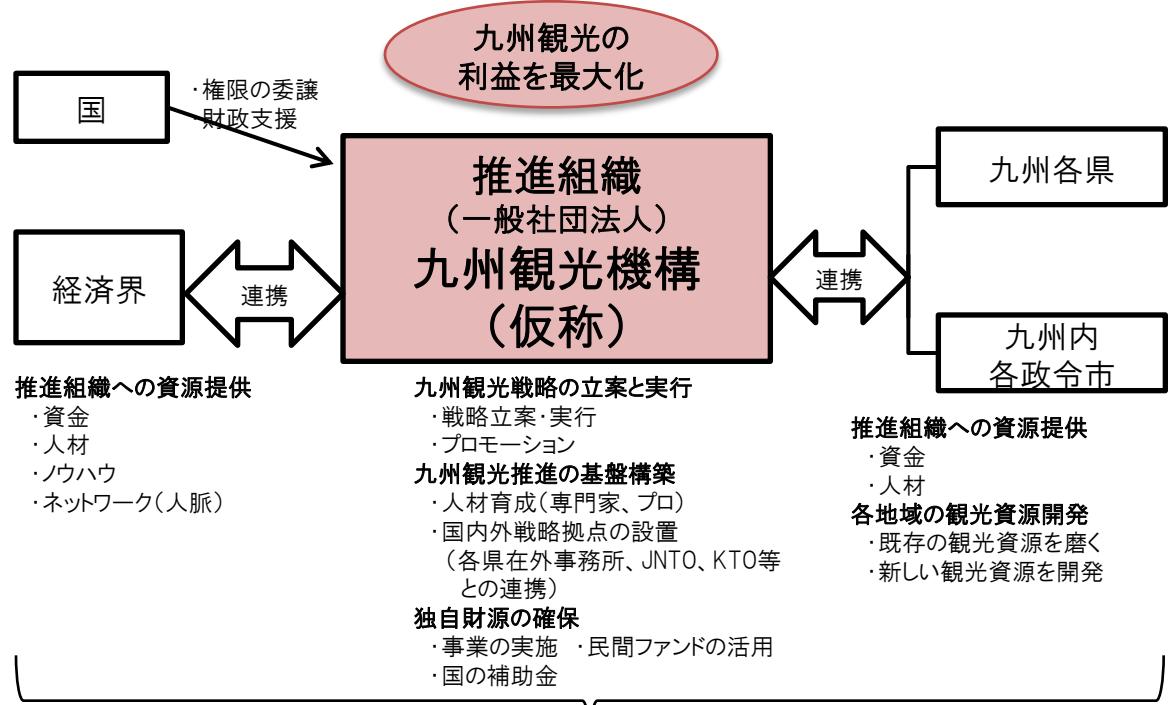
観光産業の経済規模シミュレーション



シナリオ① 観光立国推進基本計画(H24.3)各部門の目標増加率(16年/09年)に準拠
 国内宿泊: 4.0% 国内日帰り: 18.2% 訪日外国人: 150.0% その他: 92.3%

シナリオ② 国の戦略に乗るだけでなく九州独自の戦略を実施する場合観光消費を更に1兆円上積み

シナリオ②を実現するために必要な推進組織



官民が一体となり、観光産業を九州の基幹産業へ育てる。

1

戦略1. 訪日外国人戦略(719億円→5,800億円)

ブランド・イメージ構築 戦略
クオリティ向上

- ▶ 訪日リピーターへのプロモーション(「次は九州へ！」キャンペーン)
- ▶ 九州オURREの深度化
- ▶ クオリティレベルの導入
- ▶ ユニバーサルデザインの推進

新たな市場分野の開拓戦略

- ▶ MICE旅行の誘致
- ▶ 教育旅行市場の開発
- ▶ プライダトル市場の開発
- ▶ 東南アジア華僑マーケット
- ▶ JNTO・韓国観光公社との連携

移動利便性の向上戦略

- ▶ マルチビザ発給への働きかけ
- ▶ 空路・航路の路線誘致
- ▶ 地方空港・港湾のCIQ業務への外部能力活用

① 中国市場(対象都市・地域の潜在旅行者数1.4億人の巨大市場を積極的に開拓)(4,406億円)

目標: 中国(対象都市・地域)の潜在旅行者数1.4億人(2016年)のうち、重点地域から2%、それ以外から1%(計256万人)を誘客

■ 潜在旅行者数: アジア12カ国(韓国・中国・香港・台湾・シンガポール・タイ・インド・インドネシア・フィリピン・スリランカ・ネパール・バングラデシュ)の1人あたり名目GDPと1人あたり出国回数の相関係数(R²=0.934)を利用し、中国主要都市・地域の海外旅行者数のポテンシャルを算出した。

■ 対象都市・地域と潜在海外旅行者数
 ・重点地域=九州自治体と姉妹都市関係にある都市・地域+九州との間に直行便が就航している都市・地域(北京、天津、上海、河北省、遼寧省、江蘇省、福建省、山東省、湖北省、広東省)=11,208万人
 ・それ以外の地域=重点地域以外の主要都市・地域(重慶、吉林省、黒竜江省、浙江省、内モンゴ)=3,188万人
 (11,208万人×2%+3,188万人×1%)×中国人旅行者の旅行消費単価(172,065円/回)=4,406億円

② 中国以外のアジア主要市場(韓国・台湾・香港・タイ・シンガポール) 新規開拓市場(インド・インドネシア・華僑市場) (1,403億円)

目標: 韓国人90万人、台湾人45万人、香港人5万人、その他15万人を誘客
 各国の目標誘客数×各国旅行者の旅行消費単価=1,403億円

2

戦略2. 国内宿泊旅行戦略(19,099億円→25,500億円)

① 九州外市場からの誘客戦略(+2,665億円)

目標: 修学旅行で50万人、プロモーション地域拡大により229万人、スポーツ企画、MICE等で280万人を誘客
 上記誘客数の合計(559万人)×九州内での宿泊旅行単価(47,670円/人回)=2,665億円

上記目標を達成するために考えられる取組
 ・首都圏以外の直行便就航エリアでのプロモーション
 ・「スポーツアイランド九州」キャンペーン(サッカー、ラグビー、野球、モータースポーツ)
 ・MICEの誘致

② 九州内の相互交流推進戦略(+3,762億円)

目標: 九州在住者の宿泊旅行回数(2.21回/年)を1回増の3.21回/年に
 2016年の九州7県の推計人口(12,908千人)×九州内で宿泊する割合(61.8%)
 ×九州居住者の宿泊旅行単価(47,162円/人回)×増加分の旅行回数(1回/年)=3,762億円

上記目標を達成するために考えられる取組
 ・年間旅行回数の増加に向けたアプローチ(年休取得率の向上)
 ・「九州を知ろう！」キャンペーン(各県が相互送客キャンペーンを実施)

3

戦略3. 国内日帰り旅行戦略(7,177億円→9,100億円)

① 九州経済界への働きかけ(①②あわせて+1,911億円)

目標: 九州在住者の日帰り旅行回数(2.00回/年)を1回増の3.00回/年に
 2016年の九州7県の推計人口(12,908千人)×九州居住者の日帰り旅行単価(14,803円/人回)
 ×増加分の旅行回数(1回/年)=1,911億円

上記目標を達成するために考えられる取組
 ・年休取得の促進(平均取得日数8.5日/年→17日/年)

② 九州市民への働きかけ

上記目標を達成するために考えられる取組
 ・「九州を知ろう！」キャンペーン(再掲)